

経営比較分析表

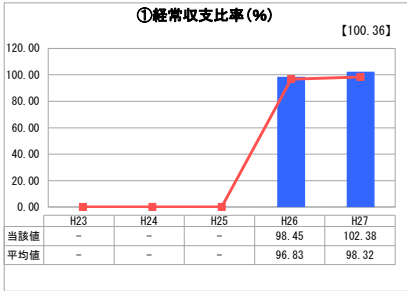
埼玉県 上里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)
-	46.07	3.38	100.00	2,127

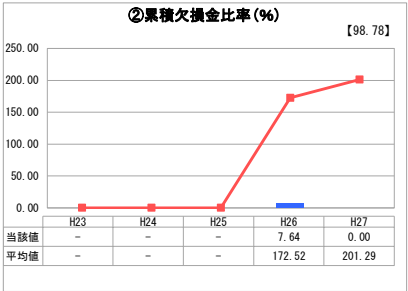
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
31,387	29.18	1,075.63
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,057	0.27	3,914.81

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

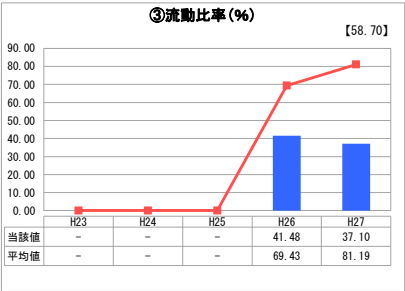
1. 経営の健全性・効率性



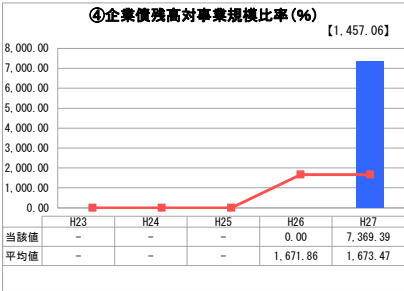
「経常損益」



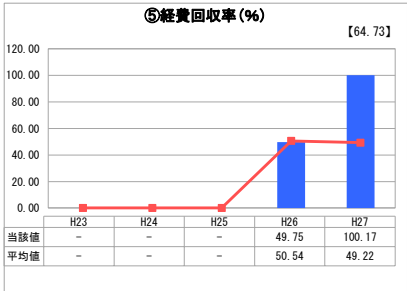
「累積欠損」



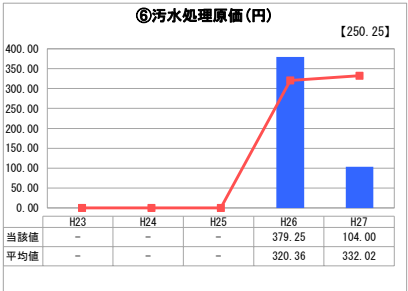
「支払能力」



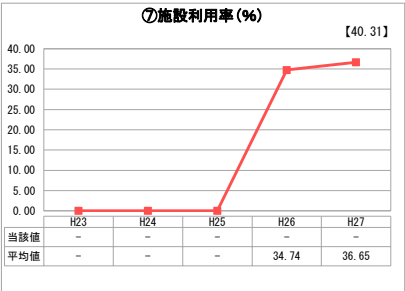
「債務残高」



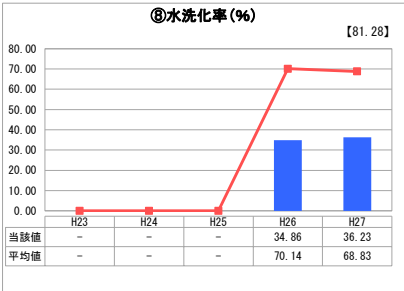
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

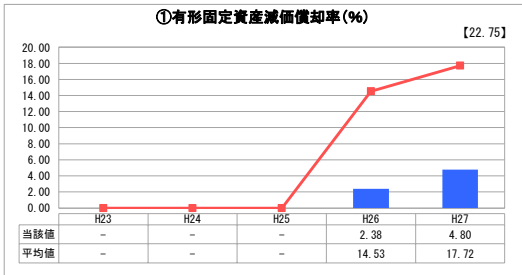


「施設の効率性」

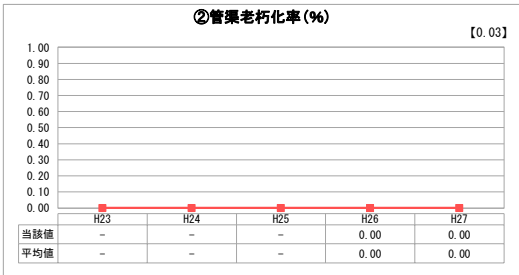


「使用料対象の捕捉」

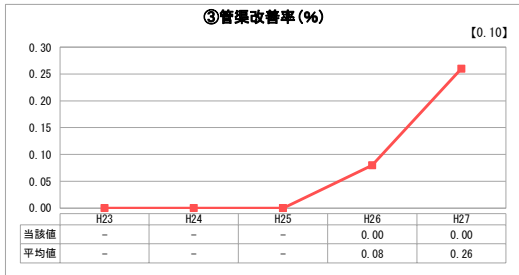
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

上里町特定環境保全公共下水道は平成26年度より地方公営企業の全部適用を受け、今期で2度目の決算となりました。

法適用1年目の平成26年度は赤字決算でしたが、2年目の平成27年度については黒字となり、料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す経常収支比率では前年度比で3.93%の上昇となりました。類似団体比で4.06%、全国平均比では2.02%上回っていますが、一般会計への依存度が高く、使用料収入の向上が必要となります。

累積欠損金の比率は、赤字から黒字に転換したことで、前年度7.64%から今年0.00%になり、全国と比較しても低い結果となっております。

1年以内に支払うべき債務に対する支払能力を表す流動比率は、依然類似団体よりも低い状態ではありますが、1年以内に支払う債務の大半を次年度に支払う建設改良費に充てた企業債の償還金が占めており、支払能力が一瞬に低いとは言えませんが、今後の企業債償還金の増加にも対応できるよう、支払能力を高めるための改善を継続して図っていく必要があります。

水洗化率では前年度比で1.37%の増となりましたが、類似団体と比較しても依然低い状態となっています。水洗化率の向上は収益への向上に直接結びつくため、住民の皆様へ公共下水道の利用に関し、一層のご理解を頂けるよう、啓発活動等をより積極的に行い、経営の改善を図る必要があります。

2. 老朽化の状況について

上里町特定環境保全公共下水道は平成15年度より工事を実施し、平成22年度に供用を開始いたしました。このため管渠の老朽化への改善の必要性は現時点ではありません。

全体総括

平成26年度の赤字決算から、平成27年度は黒字決算へと黒字への転換ができました。しかし、使用料収入だけでは経費は賄いきれていないため、経営改善のためには接続率の向上が必須となります。

また、今後は供用開始後の経年に伴う老朽化への対策が必要となることを視野に入れた経営を行っていく必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。